



子どもたちの目的に応じて、**学習方法や学習形態**
を選択する場を位置付けています！

実践例 子どもたちが学習方法や学習形態を選択する

～子どもたちはこう思っているかもしれません～

ちゃんと言えるか不安…
もう少し練習したい。



もう言えるのに…
早くペアでやってみたい。



これから15分間、今の自分に合った学習をしましょう。

タブレット端末の画面を参考に、途中で学び方を変えてもよいですよ。

💡発音が心配
だから、デジタル
テキストで練習
しよう。



Hanako

タブレット端末で可視化

先生に相談したい

Shohei

Aoi

Ken

Hanako

Taro

個人で学びたい

ペアで学びたい

💡Kenさんも
ペアでやりた
いんだな。話し
かけてみよう！



Taro

<授業の終末などで…>

Hanakoさんはなぜ、個人学習を選んだのですか？



私は最初、少し自信がなかったので個人で練習をしました。でも、その後ペアでやったら意外と話せたので、次は自信がなくても「まず、やってみる」ことも大切にしたいと思いました。



Hanakoさんのように、目的をもって選択することが大切です。

児童・生徒質問 41 【4件法で「1.当てはまる」の割合: 小学校:37.5%、中学校:29.3%】

質問内容: 自分にあった教え方、教材、学習教材などになっていましたか。

ここを大切に！

☒ 目的を明確にもち、自分に
合った選択ができている

☒ 自己選択する時のルール
が分かっている

☒ よりよい姿や表現を目指し、
最後まで学び続けている